

労働保険事務

おまかせ下さい

—社大森工場協会—
—労働保険事務組合—

社団法人 大森工場協会会報

第67号

平成22年 8月 1日

発行 大森工場協会

編集委員会

東京都大田区中央2-11-10

TEL 03 (3771) 4744

印刷 城南印刷工業株式会社

TEL 03 (3752) 3391



巻頭言

6期目の会長就任に 当たって

(株)大森工場協会会長
(株)昭和製作所代表取締役

舟久保利明

山本有三の「路傍の石」という小説を覚えて
いる方がおられよう。その中の一節。

自らを生かそうとするならば
他と共に生きることである
他を生かさずして

自らを生かすことはできない
たった一つしかない自分を
たった一度しかない人生を
本当に生かさなかつたら
人間に生まれてきた甲斐がないじゃないか

昔中国に、竹林の七賢人と呼ばれる人たちがいた。醜い人間社会と隔絶した環境の中で、孤高を保つ気持ちで清潔な生活をしていたという。このことについて考える時、そういう生き方も人間には許されるという意見がある反面、人間社会からの逃避は人間でなくなるという言葉がある。人間は人間社会を前提として存在する。そこから自発的に出ること人間を捨てることである(古くはロビンソンクルーソー、最近では横井さんや小野田さんのような人は、強いられて社会から追い出された訳でこれは運命的なものであるから仕方がない)。

さて、人間は社会的動物であるのなら、生きるということは他人との共存が前提である。そして生きるということは漫然と命ある限り生き長らえることではない。何かをすべきである。この場合、何かを特定することはできない。何十億もの人間はその数と同じくらい生きていく間は何かをやっているはずだからである。そして全てが何らかの形で繋がっているのである。他人と繋がっていることは他

人と生きることには他ならない。

社会の中の個人はジグソーパズルの一ピースであると言われる。自分が生かされるためには、隣同士が、隙間なく、嵌め合わされなくてはならない。嵌め合いがうまくいかず、固定的(このままでよい)かつ排他的(余ったから捨ててしまおう)となると諍いや戦争に繋がるわけである。ジグソーパズルが平坦であれば平和な状態であり、盛り上がりたればどこかで争いがあるということである。

お互いに嵌め合わない部分を嵌め合うようにすることが、自分を生かし、他人を生かすということであり、そのことが生きがいを生むのだと思う。しかし、現代という時代は、そうせすに争いつづけることに生きがいがある、という輩が輩出している。全体の釣り合いなど初めから考えないのである。

釣り合いの感覚は知的なものである。自分を生かし相手を生かすということは所詮全体から自分を見ることが始まる。人生とは全体から個人へ、個人から全体へ、視点を変えながら進んでいく。これを捨てたらつまらないし、生きていく甲斐もなかる。

前おきが長くなりましたが、私も(株)大森工場協会に在籍させていただき、平成十二年に会長を拝命してから早や今回の役員改選で6期目の就任となった。すでに会員の皆様はよくご承知のとおり、(株)大森工場協会が設立された所以は、定款の目的に示されているとおり、「企業の安定と工業技術の向上を図るための事業を行い、もって地域産業の健全なる発展に寄与する」ところにある。これらの目的を達成するために、諸先輩た

ちの努力により営々とその実績を残されてきたところであるが、長引く不況の影響や世代交代等の理由から、年々会員の減少が顕著となり、なかなか横の連携どころではない状況にあることは、とても歯がゆく感じしているところである。

とは言っても、この不況時における厳しい

運営を任された以上は、曲がりなりにもこの任を果し、後継者に繋げていく義務を負っていることを改めて自覚し、前進していきたいと考えているところで、会員各位には倍旧のご支援・ご協力を賜るようお願い申し上げます。

来賓からの祝辞

来賓を代表して(株)大田区産業振興協会山田専務理事は、「EUの加盟国の財政危機など世界経済は荒波の中にあるが、東南アジア諸国は非常に元気がある。その中で日本のモノづくりは大変な実力があり、医療機器分野や航空機産業など、これからの活躍の場は十分ある。区内で頑張っている皆さんに期待します」と締めくくった。

新役員の顔ぶれ

理事 舟久保利明、竹内栄多、木村洋一、森崎眞洋、伊藤裕敏、川村有史、丸山昌輝、柳沢重幸、渡辺美仁、関 輝武、上田大輔、竹内康晴
監事 平林孝博、神崎国雄

以上二名
なお、総会後の理事会において、理事の互選により舟久保理事が会長に、竹内、木村、森崎理事が副会長にそれぞれ選任された。



会員減少傾向の回復を

議案の審議に先立ち、舟久保会長が挨拶の中で、「構成会員の減少する事態について、経済環境の厳しさによるものと捉えらるとともに、(株)大田工業連合会会長の立場で各地域団体と交流する中で、会員の減少傾向にあるのは同じである。しかし、そうした中で元気で頑張る人たちはやる気十分である。当協会もモノづくりの業界で余人を持って変えがたいというポジションを確保し、頑張ります」と語った。

3つの議案について可決決定

- 第1号議案 平成二十一年度決算関係書類承認の件
- 第2号議案 平成二十二年年度事業計画、収支予算承認の件
- 第3号議案 役員選任の件

以上の各案件について、舟久保議長が杉本事務局長に説明させ審議の上、満場一致で可決決定した。役員選任については、選考委員の指名推薦により理事十二名、監事二名が選任された。



新任役員(左から)舟久保、竹内、木村、森崎、伊藤、柳沢、丸山、川村、渡辺、関、上田、平林

(株)大森工場協会 第65回 定期総会を開催

現在の日本の中小企業は苦戦を強いられていると言われている。元来この中小企業という単語は経済学的には親会社と下請け関係のピラミッド構造を説明するときに使われるのであるが、いつしか社員数や資本金額等の数量的な意味に用いられるようになってきた。日本と同様欧米でも中小企業は存在するが、日本では経済の根幹をなすものとして中小企業問題はその浮沈に

関し論じられることが多いのに反し、欧米では論じられないことが多い。欧米の企業は押しなべてコアコンピタンスを中核として発生し、存続する。対して、日本の中小企業は基本的には景気変動のダンパー的存在として発生し、存続してきたものが大半を占める。それらは普通に言われる営業・開発部門を有しない。し

「中小企業の生き残りをかけて……」

(株)昭和製作所
代表取締役

舟久保 利 明

かし、今やグローバル経済の中で日本の実体経済が急変し特に工業分野において親会社と下請け関係のピラミッド構造が崩れていく状況の中で、いわゆる日本の中小企業問題は変質化している。即ち、中小企業として位置づけられてきた部分のうち、全くと言っていいほど営業・開発部門を持たない、中小企業と言われる範疇のその後尾に位置する零細企業が、ものつくり分野からの切り捨てを余儀なくされてきているのである。極論すれば、経済学的にいう中小企業が死滅しかかっているのである。業界への参入障壁は工業に限って言えばどの分野にもあり、極めつけは製鉄業で、この基礎技術もさることながら膨大な投資金額が前提である限り誰も鉄を作る会社を起さそうとは思われない。零細企業の発端においてはもともとそのようなものはなかったが、特にトリーサビリティを必要とする製品検査が重要視される傾向の中で、機械加工の分野においては、加工して寸法検査を行うだけでは済まなくなっている。メッキの分

野・熟処理の分野等においても同様なことがいえる。いつの間にか自然発生したように思える参入障壁の前に零細企業はそれを乗り越える力は今やない。蛙が鍋の中でゆっくり温度を上げていくと死ぬまで出ようとはしない、その温度の鍋に蛙を入れればすぐに飛び出してしまふ。今まさに消えようとする零細企業は、グローバル経済の劇的な発展がもたらした環境の変化の兆しに対処しようとしなかった、或いはできなかったというほかはない。

但し、いつの時代にも名人はいるもので、彼らの技術は件の参入障壁を超えて存在する。大田区のもの作りを考えると、その意味での零細企業の衰退は全体の基盤を脆弱化する。彼らはおしなべて零細企業であり、立派に存続している場合が多いが、待ちの体勢の場合が殆どで、また彼ら自身孤高の人が多い。しかし、大田区として高度なもの作りの集積を維持するためには社会的に彼らを存続させることが絶対に必要である。遅まきながらの大田区の工匠制度は画期的なこととして評価できるが、現状として彼らの殆どが慢性的仕事量不足の状態にあり、彼らをごのようにつ活用するかの検討がなされていないのは歯がゆいことである。

結論として、先に述べたコアコンピタンスを有する企業は何とか存続できるであろうが、それ以外の零細企業のはかは衰退する運命にある。もし生き残りをかけるならば、人材育成による高度なもの作りの技を磨く努力をすること、今の仕事の高度化(新製品・技術に関する研究開発の実行・現在必須となってきた高価な計測器具の導入・日々進歩するIT技術を取り入れる努力、等々)を目指す努力をしなければならない。厳しいことを言えば、零細企業を支える当事者がその努力をする時間がないと公言するならば廃業するしかない、と言わざるをえない。現にその認識の上で廃業する零細企業が後を絶たない。その認識をひっくり返すための彼らと一体化する行政指導(補助金獲得・再生産可能な企業存続の経営指導・今さらと言われるかもしれないNC関係の技術教育)を積極的に行わない限りこの状況は進むであろう。

これまで述べたことはあくまで趨勢的なことで、全部が全部ではない。親会社と下請け関係のピラミッド構造に立脚する中小企業群はそれなりの技術面等の企業努力により、また顧客に余人をもって代えがたい企業とみなされている限り、今も存在する。しかし、グローバル経済、特に東南アジアを中心とする中国経済の急激な発展の中で、いずれ日本の中小企業は、経済学的な範疇から脱し、自立の道を歩む欧米型の中小企業に変わっていくしかないと考えられる。

YMクラブ幹事長になって

(有)警梯工業 専務取締役 渡辺 美 仁

四月よりYMクラブ幹事長を任されることになりました。警梯工業の渡辺と申します。長く歴史有る会を任されることにつけて、リーマンショック以降の不景気で、先の見えない状況の続く中、以前見た新聞記事の事を思い出します。

国内で創業して一〇〇年を超える「長寿企業」会社は二万一千社にのぼるそうです。長寿企業の特徴としては「本業重視だが時代に合わせて変化」「身の丈にあった経営」「従業員重視」の三点を挙げていました。

創業が最も古いのは、寺社建築工事の金剛組の五九八年で、安土桃山時代までの創業は二六六社、江戸時代は三五三〇社あり、業種別では卸売業・小売業が九六〇社で最も多く、製造業は四分の一の五七三社でした。

我々の中にも、五〇年を超える歴史の永い会社は沢山あると思います。YMクラブとしては、先の未来を支えるべく、最近のトレンドを取り入れつつ、各社が自立と共生をしていける手助けになる企画をしていきたいと考えています。

もちろん大森工場協会あつてのYMクラブですが、歴史に名を刻む長寿団体へとなっていくよう、厳しい今を乗り越え、時代とともに進化し、今以上に大田区特有の仲間ネットワークの繋がりの強い団体にしていけるよう盛り上げていきたいと思ひます。まだまだ未熟な幹事長ですが、皆様のご協力とご参加の程宜しくお願ひ申し上げます。

ワールドカップを見て

(株)上田製作所 代表取締役

上田 大輔



4年に一度のワールドカップが今月(6月)から始まりました。サッカーファンの私としては1ヶ月間が楽しみでしようがありません。日本の初戦はアフリカの雄カメルーンでした。戦前の予想は日本にとって非常に厳しい評価でしたが、何と1対0で勝利!テレビの前で一人興奮してしまいました。その試合でゴールを決めたのは本田選手でした。ゴール後の彼はベンチにいる控え選手のもとへ駆け寄り、喜び合う姿はチームワークの良さを何うことが出来ました。

一方、前回の準優勝国フランスがリーグ戦敗退の危機にあります。試合に勝てないことから監督、選手、チームスタッフまでもが険悪な雰囲気になっており、選手の一人は監督に暴言を吐きチームから追放されてしまう事態になってしまいました。やはり何をやるにもチームワークが絶対に必要であり、乱れだすと何も出来ないなあ、と思いました。

これからも仕事などを進めていくうえでチームワークを大切に、全員で同じ目的を果たす努力をし続けていかなければいけない、と感じさせる出来事でした。

今年の梅雨はかんかん照りの日もあれば、突然ゲリラ豪雨に見舞われるなど、地球温暖化現象と言われる中でスッキリした夏空が待ち遠しい昨今です。会員の皆様にはお変わりなくお過ごしてでしょうか。

さて、今年もまた恒例事業の納涼会が近づきました。今年も皆様から喜んでいただける企画をと、悪戦苦闘しながら計画を進めております。

今年はアトラクションとして、「ハマの三味線野郎、新正達志さん」を迎えて、賑やかに会場を盛り上げていただくこととしております。

真夏の夜を冷たいビールで思いっきりフレッシュして、夏を無事に乗り切りましょう。会員及びご家族並びに従業員の方々、お誘い合わせの上多数ご参加下さるようお待ちしております。



納涼会のご案内

(社)大森工場協会
Y M クララ
共催

1. 日 時 平成22年 8月 26日 (木)
午後 6時 30分 から
2. 会 場 大田文化の森 5階大ホール
大田区中央 2-10-1
(Tel 3772-0700)
3. 参加費 3,500円
4. 申込み 平成22年 8月 18日 (水) までに、
会費を添えてお申し込み下さい。
5. 入 場 券 受付にてお渡しします。お弁当と引き換えて下さい。

6. アトラクション

「ハマの三味線野郎、新正達志オンステージ」

プロフィール

新正達志
Tatsushi Shinjoh



横浜市生まれ。11歳より影沢流師範・影沢藤浪に師事し、日本民謡の唄三味線を習得。

05年からは、平安隆に師事し、沖縄民謡の唄三線を習得。現在は、三線、民謡三味線、太棹三味線の二刀流で、横浜近郊の沖縄料理店、中・高等学校、介護施設などでのライブ演奏活動を行っている。

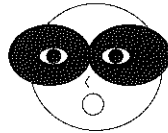
太棹の津軽三味線から、民謡三味線、沖縄三線、

さらには、ブルースやロックなども三味線でプレイする「マルチ・シャミセニスト」。



この体験で視覚障害者の方と初めて接し、視覚障害の理解が深まった事、目が見えている事の喜びをとても強く感じました。

個人的に皆さんにオススメしたい体験でした。



「ダイヤログ・イン・ザ・ダーク」の体験

(有)神崎鑄工所 専務取締役
神崎 浩一

先日、世界二十五ヶ国、約百都市で開催された、六百万人以上が体験した「ダイヤログ・イン・ザ・ダーク」へ行ってきました。

視覚障害者のサポートのもと、真暗闇の中を探検し、様々なシーンを体験するというのが、初めにうす暗い部屋の中で一本の白い杖を渡され、真暗闇をガイドしてくれる視覚障害者の方と参加者同士の自己紹介をして、真暗闇のおぼけ屋敷に入ってしまった感じでした。真暗闇の中を杖でさぐりながら歩き、まるで座頭市のように、中で色々な体験をするのですが、視覚が遮られている為、聴覚や嗅覚がとても敏感になりました。

これがとても新鮮な感覚で、機会があればもう一度体験しようと思えました。

この体験で視覚障害者の方と初めて接し、視覚障害の理解が深まった事、目が見えている事の喜びをとても強く感じました。

個人的に皆さんにオススメしたい体験でした。

入管法改正による新しい技能実習制度のご紹介

はじめに

大森工業協同組合では、一九九二年以来中国からの外国人研修生受入れ事業を実施しており、現在までの受入れ実績は、受入れ企業総数十二社、十五次にわたる受入れ研修生総数は百三十七名によつて

おります。

しかしながら、マスコミ報道などでご承知のとおり、一部の受入れ企業等においてはこの制度を悪用し、単なる低賃金労働者の獲得手段として利用するなど労働関係法違反が後を絶たないことから、平成二十一年七月に入管法が改正され、平成二十二年七月一日から新しい技能実習制度が施行されることになりました。

○主な改正内容

新しい技能実習制度においては、技能実習生の法的保護を図るため様々な措置が講じられており、これを運営する組合にとってはかなり厳しい義務と責任が課せられることになりました。新たな改正点は次のとおりです。

1. 一年目から労働関係法令を適用

今回の改正によって、組合が職業安定法に基づく職業紹介事業者となり、技能実習生を受入れ企業に職業斡旋することになりました。また技能習得活動は、一年目から雇用契約を締結して行うこととされ、労働基準法や最低賃金法などの労働関係法令が適用されることになりました。

2. 受入れ団体による監理の強化

組合による受入れ企業への監理が強化され、組合役員による監査の実施や、受入れ企業に対する訪問指導等が義務化されました。

3. 技能実習生の法的保護

受入れ団体による実習開始前講習の実施により、技能実習生に対する法的事項の教育を行うほか、技能実習生のための相談員をおくことが必要となりました。

なお、新しい技能実習制度の概要を示すと別図のようになっています。

○今後の雇用対策



ところで、わが国における雇用の情勢はというと、リーマンショック以来の景気低迷によって人員整理を余儀なくされ、そのため多数の失業者が発生し雇用の悪化が続いております。まだまだ中小企業においては景気回復の兆しが見えませんが、日銀等における景気の判断は着実に回復基調を報じており、今後益々少子高齢化が進む中において、景気回復に伴って企業の戦力をいかにして獲得するかを考えると、これまた大きな問題となってくるでしょう。その対策にはかなりの困難が伴うので考えられます。

大森工業協同組合ではかなり前からこのことを念頭において、組合運営におけるいかなる困難をも克服してこの事業を継続しているところです。勿論この事業に参画するには組合員の資格が必要になりますが、近い将来を視野に入れて企業の戦力確保を考えておられる方、あるいはこの制度に興味をお持ちの方は、是非大森工業協同組合にお尋ねいただきたく、ご紹介申し上げます。

「とうきょう共済」の火災共済加入のご案内

平成22年5月25日開催の(社)大森工場協会定期総会時にもお知らせしましたが、協会では会員に対する福利事業として、とうきょう共済の代理所となって火災共済保険への加入をお勧めしております。

平成21年度末現在の加入状況は、56社(87件)、27億6,340万円の加入をいただいております。

去る6月18日に実施された代理所会議において、(社)大森工場協会は年間2億円以上達成の20団体に選ばれ、別掲のとおり表彰の栄に浴しました。これ偏に会員各位のご協力の賜と厚く御礼申し上げます。

皆様すでにご承知いただいているところですが、「とうきょう共済」は東京都火災共済協同組合が運営しているもので、他の損保会社の保険等とは異なり、中小企業のみを対象とし、共済の観点からも利益の追求を目的としない仕組みとなっております。

よって、次のような特色を持った大変有利な保険ということが出来ます。

1. 掛金が安い

一般の火災保険に比べ約10%安く、内容的にはまったく違いはありません。

2. 剰余金が還元される

共済目的のため、剰余金は利用量配当として加入者に還元(5%)されます。右図：利用量配当をご確認下さい。

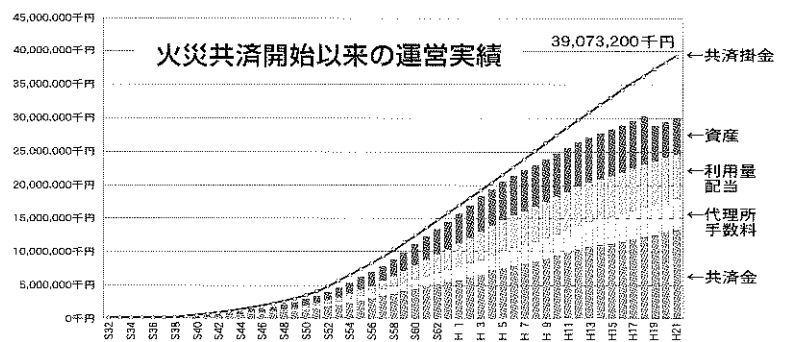
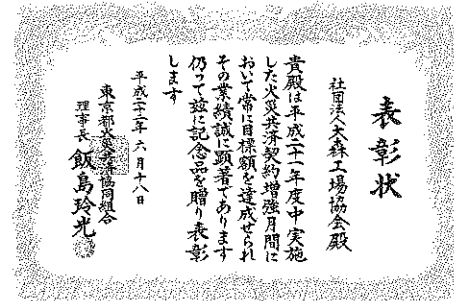
3. 共済金の支払が迅速かつ有利

万一の場合、現場の調査が終わり次第支払準備が行われ、1週間程度での支払となっております。

4. 協会が窓口(代理所)なので安心

とうきょう共済の担当者と協会が一体となって、サポートをしておりますので、加入手続や万一の請求等も安心です。

詳しくは「火災共済のご案内」チラシをご覧ください、満期等を迎えたときには是非見直し検討をいただくよう、よろしく願い申し上げます。



企業の人事採用担当の方へ 採用のご検討をお願いします！

東京都立城南職業能力開発センター大田校では、新たに職業に就かれる方、求職中の方、転職を希望している方を対象に、実技を主体に職業訓練を実施しています。

職業に必要な知識・技能を習得し、まじめに働きたいとの意欲にあふれた生徒・修了生ばかりです。ぜひ、貴社の新しい戦力として、ご採用賜りますようお願い申し上げます。

科目一覧

科目名	訓練期間	訓練修了月
メカニカルデザイン科 ※1	2年	3月
金型加工科	1年	3月
三次元CAD・CAMモデル科		
広告美術科		
板金溶接科	6ヶ月	9月・3月
CAD製図科		
福祉調理科	3ヶ月	6・9・12・3月
施設警備科 ※2		

※1 おおむね30歳以下を対象としたコース
※2 おおむね50歳以上を対象としたコース

■求人のお問合せ・申込先

東京都立城南職業能力開発センター
大田校

〒144-0044

東京都大田区本羽田3-4-30

電話番号 03(3744)1013

FAX番号 03(3745)6950

就職支援担当：佐々木、山室

■求人申込期間 随時受け付けております。

(編集後記)

最近テレビ番組の中で、謎かけを得意として話題をさらっている「ねづっち」というお笑い芸人さんがいる。お題をもらってと束の間「整いました」と打って返す状況は、皆様もよくご存知のところでしょう。その回答の出来栄もさることながら、よくも短時間であのようならめきが出てくることに、いつも感心させられることしきりである。脳科学者の説明によれば、前頭葉を鍛えることによってあのようならめきを開発できるのだそうだが、私などはひらめくどころか、最近では「えーとあの、あの、あれ、あれ」と、頭の中では意識しているのだが言葉には中々出てこない有様で、とうとう痴呆症の始まりではないかと心配するくらいあたふたすることが多くなった。

そんな昨今において、私のメールに毎月三回のペースで入ってくる会計事務所の某先生からの短評は、内容こそ異なるが社会の出来事に対する機転の利いた反応ぶりであり、時には皮肉たっぷりな戒めとなっており、いつも感心して読ませていただいているところである。ちなみに、「○○○のひとり言」と題したその一端を紹介すると、次のようなものである。

「平成に入ってからわが国十六人の首相が誕生、現在の国の借金はいくらと九百兆近く、角界までが不祥事の続出、これらはすべて脈絡のない出来事ですが、どこかシステム自体が疲弊し、間違った方向を向いていると思えません。首相を選出するシステム、国民をおおるような報道合戦をしなくてもマスコミの経営が成り立つ仕組み、福祉関係の予算が増え続けたいの高齢者・障害者対策、公益法人という競争原理や監視の届かない制度の見直し等々、悪いシステムをいつまでも続けておれないことは明らかです。もし我々に自己改革機能がないとするなら、外からの力で改革するしかありません。このことはわが国の歴史が物語っているとおりなのです。

会社経営においても、兎が木の根っこで転ぶのを待っているような状況では、アクションも起こさずして衰退していくしか道はありません。それでも外からの圧力で変革するという可能性は残っているのですから、外部人材を使ってでもそのシステムを改める決断はできるのです。戦争や甚大な自然災害、特需のような外部環境の変化がなければシステムが変わらないということは誠に淋しい限りです。そこまで日本人は馬鹿ではないはずと思いたい。……とまあ毎回このようにまとめている。

こんなならめき事例にめぐりあひながら、今日も会報原稿を仕上げるためにひらめかない頭を悩まし続けている自分。一体この先生のようにな文章が即興で書けるためにはどうすればよいだろうかと、前頭葉を刺激し続けている昨今である。

T・S記